



2025年1月25日（土）

湘南アルプス（181m：大磯駅起点）

熊本さん、発案、計画で、大磯駅から「関東ふれあいの道」を通り、湘南平（177m）、最高点181mの浅間山（せんげんやま）から高麗山（こまやま）（168m）の尾根歩きで、高来神社（たかくじんじや）に下るコースを遂行、相模湾、富士山の展望（曇りで見れなかった）と登山道に咲く水仙を楽しみながらの3時間弱の超低山歩きを楽しみました。

11時頃には下山し、昼は大磯港で朝獲れの魚定食（2500円前後）を食べる予定でした。

参加者：熊本さん、堀さん、高橋（雄）さん、根岸さん、Report：池戸の5名



JR 大磯駅集合 8:20



駅改札を出て右線路沿ガード下をくぐり



暫く行くと、御嶽神社



湘南平へ「関東ふれあいの道」道標



住宅街を進む



住宅街の緩い坂道を行く



湘南平へ、至る所に道標がありました



個人宅のスイセン



行き止まりは車庫、



行き止まりの右にある階段を登る



階段を登ると山道となる



後続を待つ雄さん



頂上近くのスイセン眺めながら登る



ジョウビタキ（メス）



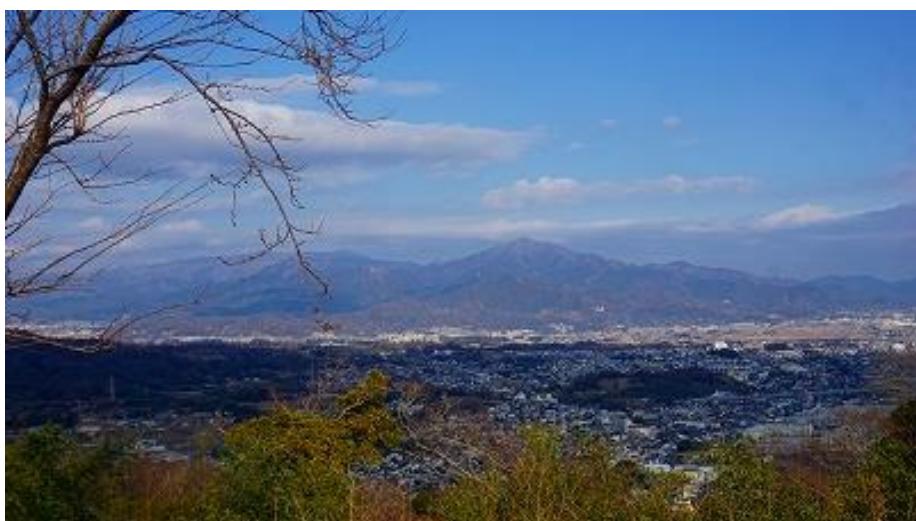
頂上直下の駐車場



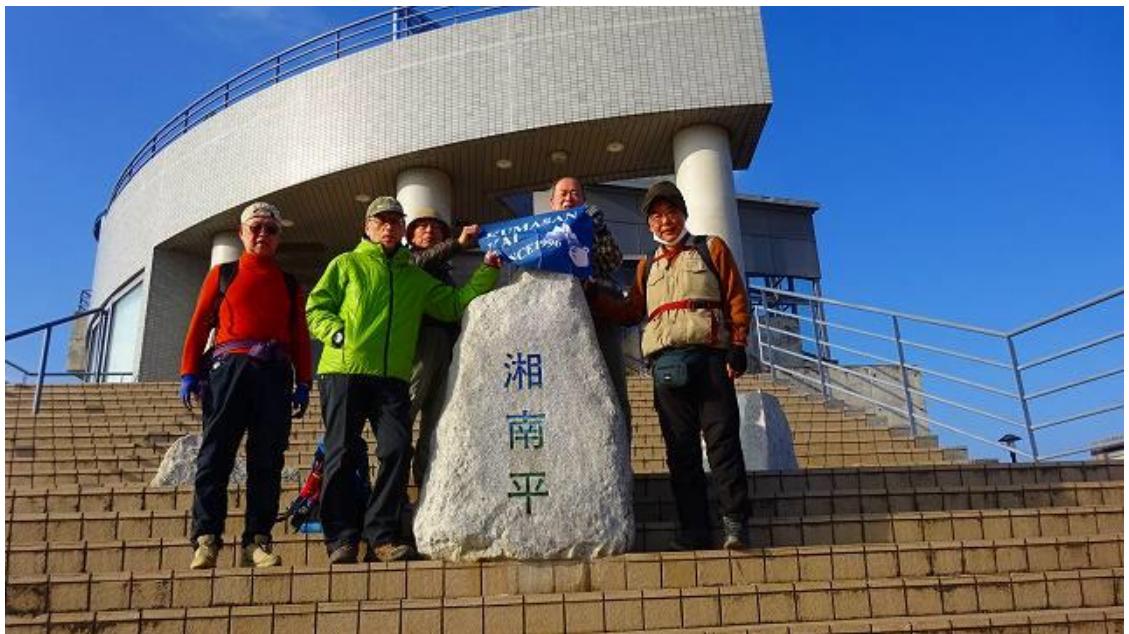
この階段を登ると湘南平



湘南平から大山を望む



大山はかす
かに見えた
が、曇りで
富士山は見
えなかった



9:03 展望台下、展望台は閉まっていて中に入る事が出来なかった。(早すぎた?)



大山をバックに全員写真



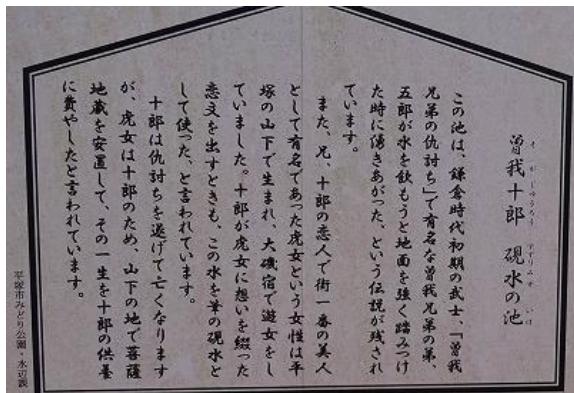
天気であれば、富士山も綺麗に見える、秋は紅葉も！



電波塔、見学できるが扉は閉じていた！



浅間山に下って行く！



この池は、鎌倉時代初期の武士、「曾我兄弟の仇討ち」で有名な曾我兄弟の弟、五郎が水を飲もうと地面を深く踏みけた時に湧きあがったという伝説が残されています。

また、兄、十郎の恋人で街一番の美人として有名であった虎女という女性は平塚の山下で生まれ、大磯宿で遊女をしていました。十郎が虎女に想いを綴った恋文を出すときも、この水を手の硯水として使った、と言われています。

十郎は仇討ちを遂げて亡くなりますが、虎女は十郎のため、山下の地で墓葬地を安置して、その一生を十郎の供養に費やしましたと言われています。



下って直ぐに案内板を見て、硯水の池に寄って見た！



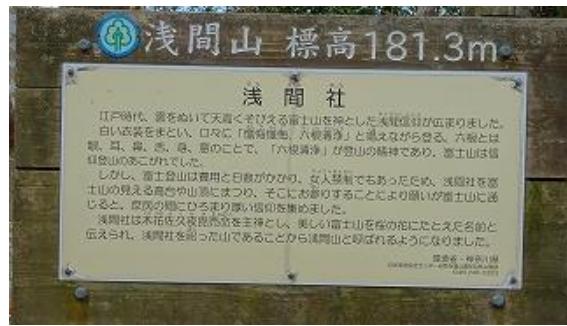
浅間山の一等三角点標識



一等三角点基準石（25km間隔に設置）



浅間神社



説明看板



浅間山を過ぎると、本日最大のスイセンの



群生、記念写真を撮る



それぞれのポーズで！





谷にかかる橋を渡ると八俵山



八俵山を過ぎると高麗山（こまやま）



八俵山（はっぴょうやま・やたわらやま）は神奈川県平塚市と大磯町に跨る標高 160m の山。山名の由来は仏教用語の八表（隅）から来ており、高麗山（こまやま）三峰の内、最も西（隅）に位置する峰という点からも推察でき、高麗寺山から現在の高麗山になった。否定する人もいるが、7世紀に滅亡した高句麗からの亡命者的一部がこの付近に定住し、寺院を建立してこの名をつけたと考えられる。



高麗山で休憩



熊本さん、差し入れのはちみつ紅茶を戴く



高麗山からは直ぐに階段で高来神社へ下る



高来神社（こまじんじや）

[高来神社 - Wikipedia](#)



無事ハイキングが終わり御礼の挨拶



高来神社





優海鮮魚海鮮漬け丼



刺身定食



北茅ヶ崎駅近くの「野天湯本 湯快爽快」



堀さんは、食後帰宅、4人は温泉で疲れを洗い流す。

計画段階から変更になった点として、湘南平に登るコースを海側から反対のコースに変更(雄さん推奨) アップダウンが少なく、楽に登れる、又当日は風が強く、海側から反対のハイキングコースは風の影響も少なく、楽に登れた、下りは計画通り。

昼食は、大磯漁港に在る、「めしや大磯港」を予定していたが、開店時間 11 時に到着、既に満員状態で外に 4 人ほど並んでいる、1 時間は待ちそう、店の人が外のベンチでお待ちくださいと言う！風が強く寒い！待てない、止む無く、他を探すことにして、大磯駅近くで探すことにした、駅の近くの観光協会で聞いて行ったのが、和食ダイニング優海、11 時 37 分到着、準備中、数分待ち 1 番で入店、5 人席を用意してくれた、後続の入店がその後何組か入り、小さな店でほどなく満席に近い状況であった。ビールで乾杯、日本酒も、色々あり、気に入ったお酒が飲める、感じの良い店でした。

その後、北茅ヶ崎近くの「野天湯本 湯快爽快」に入り、今日の疲れを洗い流し快適な 1 日となつた。